

月刊



平成27年1月1日発行 通巻228号
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可
 発行/公益社団法人 滋賀県建築士会
 〒520-0801
 滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館 3F
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

公益社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.bw.dream.jp

湖国が滋る・水と緑の街づくり

CONTENTS

- ・新年のあいさつ 2
- ・青年委員会
青年委員会 40周年記念事業報告・・ 3
- ・青年委員会
第2回 青年建築士交流会 ～話して
広がる青年建築士の輪～ 4
- ・青年委員会
40周年記念「研修旅行2015 in 台湾」
のご案内 5
- ・情報広報委員会
フォトコン作品募集 6
- ・地区だより
湖北地区委員会
- ・アイ・湖国びと 7
- ・ヘリテージマネージャー実行委員会
滋賀県ヘリテージマネージャー
育成講座報告-4 8
- ・訃報
- ・1月の暦
- ・残しておきたい滋賀の建築 第9回
白雲館



白雲館（近江八幡市）

白雲館は、明治9年（1876年）に八幡商人と区民の人々の熱意と協力によって、当時の金額で6000円の費用をかけて学校として建設された。明治10年（1877年）に「八幡東学校」として開校。以降、明治26年（1893年）に本校舎移転を理由に廃校となるまで学校として使用された。その後は八幡町や蒲生郡の役場として使われたが、昭和41年（1966年）に民間に移り、昭和40年代後半からおよそ20年ほど空き家となる。平成4年（1992年）に近江八幡市に移管。平成6年3月に修復が完成し、平成10年から近江八幡観光物産協会が管理している。

現在の白雲館は明治期の姿を復元したもので、平成10年に国の登録有形文化財となっている。
 参考文献：ホームページ「滋賀文化のススメ」

謹 賀 新 年



平成27年の新春を迎え、謹んでご挨拶申し上げます。
日頃は、公益社団法人 滋賀県建築士会に格別のご理解を賜り、ありがとうございます。

本年もよろしくお願い申し上げます。

滋賀県は、全国でも数少ない人口増加の県でしたが、昨年にはついに減少傾向に転じた様であります。

日本の人口減少と高齢化が大きな課題となり、昨年の衆議院選挙においても閣僚の失言等もあり、テーマのひとつとなりました。

政治家や有識者が議論を重ねている様ですが、一向に好転の兆しは見えず、国民の意識にも変化が生じる兆候もなく、人口問題を重大な課題として取り上げてから、長い時間がいたずらに過ぎて行きました。

国家を発展させて行く為には、人口は増えて行くことが望ましいのは確かなことですが、今の日本には、人口の減少よりも、もっと早急に対処しなければならないことがある様に思います。

それは、日本人の資質の低下を止めて、向上させる事です。

いまのままで仮に人口が増加に転じて、国力の増強にはなかなか繋がらないと思います。

自分勝手に人の役に立とうという気持ちに欠ける人や、国の名を汚してしまうような人が多くなれば、かえって大変なことであります。

ブラジルワールドカップで、会場のゴミ拾いをされた方々や、東日本大震災で苦難の中でも秩序ある礼儀正しい行動をとられた被災者の方々は、いずれも世界中の称賛を浴びました。

この方々は、日本人の誇りであります。

しかし、こうした立派な方々は少数派となり、残念ながら、反対に「私さえよければよい…」とする人が増えています。

今から、120年前の日本の人口は、4000万人程度でした。それでも新しい田畑を拓き、山の手入れをして、広い国土をきれいに整えて、国力を充実されてきたのです。

いまの人口は、その当時の三倍です。加えて、学歴は比較にならないほど高くなっています。

それにもかかわらず、国土を荒らし、道徳に反する行動をする人が多くなりました。

公益社団法人 滋賀県建築士会 会長

山本 勝義



このような事では、祖先に対して、また、子孫に対しても申し訳が立ちません。

第2次大戦後、7000万人になった人口が、25年後には、1億人に達し、国力は世界の奇跡とまで言われ、世界一の発展をなし遂げてきました。

その当時は、日本の国の将来を信じ、真面目に働けば子孫の幸せが保証されると確信し、子どもの将来に明るい希望を持つ家庭が多く、子供を育てる希望と楽しみが仕事の辛さをしのいでいたのでしょう。

今の日本は、政治も、行政も国民の信頼に応える事をしていない為、国家への信頼を保つことができなくなったのです。

未来への希望が持てない為に、仕事に苦痛を抱く様になり、かつての実直で勤勉な性格を失い、国家に依存する人が多くなりました。

その働く活力を失うのと時を同じくして、人口の増加も止まり減少へと転じたのではないのでしょうか。国家は、人口が減少したから、国力が低下するのではなく、国民力の低下が国家の衰退を来し、人口の減少を招くのではないのでしょうか。

今年は自分自身の力を鍛える、そんな年にしたいと考えています。

去年は、私くしの力不足でいろいろと反省することが多々ありました。

仕事の面でも、種々考えさせられる事象がありましたが、建築士会においても、個人情報等の取り扱いにおいて、認識の希薄さより会員の皆様にご迷惑をおかけ致しました。

その後の処置は、すばらしい役員の皆様のおかげで、適切に対処して頂いている様であり、感謝致しております。

去年は、私くしも「耳順」を迎え、有志の皆様から盛大に祝って頂き感無量でありました。

今一度初心に立ち返り、いちからの再出発の年とし、より一層の研鑽に励む所存でありますので、本年も滋賀県建築士会にご支援賜ります様、お願い申し上げます。会員皆様にとってもすばらしい一年になる様、ご祈念致します。

あーき塾 伊礼智氏 特別講演「小さな心地よい居場所にひかれて」

～旅先で出会った、心惹かれる建築や小さな居場所～ 報告

青年委員会は去る11月22日(土)に青年委員会創設40周年を記念し、建築家の伊礼智氏を招き立命館大学 びわこ・くさつキャンパスに於いて講演会を行いました。

当日は県内外から会員、他府県の建築士会員、また一般の方が参加して頂き、40周年という節目にふさわしい記念事業となりました。

講演会では「小さな心地よい居場所にひかれて」という題字のもと、伊礼氏の独自の視点による住宅設計の解説、伊礼氏が訪れ心に残った場所の説明があり、参加した人にとっては大変興味深い講演会となりました。

間取りの取り方、光の取り入れ方等、伊礼氏の解説も充実しており、建築士にとって参考になるところもあったと思います。

講演会の最後に質疑応答もあり、短い時間の中でも丁寧に質問者に解説されているところが印象に残りました。

90分という時間が短く感じられ、充実した講演会となりました。



対外交流事業 滋賀県内大学生対抗設計コンペ ～あなたが思う滋賀らしい憩いの場～ 報告

青年委員会では対外交流事業として、滋賀県内にある大学、短大、専門学校の学生さんを対象に設計コンペを行いました。9月初めから応募を行い、10月末までにこちらから与えたテーマ～あなたが思う滋賀らしい憩いの場～と題した休憩場を提案していただきました。応募者自らが滋賀を感じる場所を設定し、滋賀特有の材料を使っての休憩場の設計やコンセプトをA2用紙1枚に書いていただきました。審査員にあーき塾でご講演いただきました伊礼智氏と(一財)滋賀県建築住宅センター梅影理事長、そして当建築士会山本会長に第1次第2次審査を行っていただきました。最終26組の応募があり、創立40周年記念事業での第2次審査では10組11人の学生に3分間のプレゼンテーションを行っていただきました。最終に残った10組の学生さんは作品の想いを話していただきました。結果、最優秀賞には滋賀県立大の溝口尚人君、会長特別賞には昨年度も応募していただいた滋賀能力開発短期大学の西川拓見君・戸野部雅也君、そして当日審査員特別賞があり、滋賀県立大の伊藤有輝君が受賞されました。

本年度も多くの応募があり、学生の皆様には忙しい中ご参加ありがとうございました。また審査員として伊礼氏、梅影氏においてもすばらしい総評や審査ありがとうございました。学生にとって貴重な経験になったと感じております。青年委員会としても多くの学生と触れ合う機会となり、建築士の認知向上や若手建築士の育成になったと感じております。



懇親会 報告

去る11月22日(土)に行われました青年委員会40周年記念事業終了後、あーき塾の講師 伊礼智先生、歴代青年委員長様及び会員の皆様と共に、あたか飯店草津店にて懇親会を行いました。

当日は『40年のあゆみ』と題しまして、歴代委員長様のご活躍を懐かしい映像を見ながら談笑し、当時の思い出やこれからの青年委員会のあり方など、食事を交えながら世代を超えた懇親を行い、10年後の50周年を笑顔で会えるように約束しました。



開催日時：平成27年2月7日(土) 17時00分～19時30分

開催場所：ピアザ淡海ホテル (6F クリスタルルーム)
滋賀県大津市におの浜1-1-20

参加費：¥3,000

内 容：17時00分 受付
17時30分 開会
17時35分 青年委員会活動紹介
17時50分 ご歓談
18時50分 お楽しみイベント
19時30分 閉会



参加資格：青年建築士 (40才以下、男女は問いません)
※会員外の建築士も参加可能です。お問い合わせの上、ご参加下さい。

定 員：60名 (定員になり次第締め切ります。)

持 ち 物：名刺、ボールペン

締 切：平成27年1月20日

「話して広がる青年建築士の輪」…たくさんの仲間と意見交換し、建築士の輪を大きく広げましょう。

好評につき第2回青年交流会の開催となりました、業界の身近な話題、知っているようで知らない事、設計・施工での疑問点、会社では聞きたくても聞けない事、今さら聞けない建築技術の疑問点等いろんなお話しをしてみませんか?
※ご参加頂いた方には、記念品を贈呈します。

(注意事項)・酒席となりますので、飲酒をされる方は、お車でのご来場はご遠慮ください。

・JR大津駅からのシャトルバスをご用意しておりますので、必要場合は申し込み欄に記載をお願い致します。(後日ご案内させていただきます)

第2回 青年建築士交流会 ～話して広がる青年建築士の輪～ 参加申込用紙

地区名	お 名 前	連絡先 (TEL)	メールアドレス	バス送迎	会員／会員外
				要・不要	会員・会員外
				要・不要	会員・会員外
				要・不要	会員・会員外
				要・不要	会員・会員外

※取得した個人情報、青年委員会「青年建築士交流会」以外には、使用いたしません。

お申し込みはFAXにて… 公益社団法人 滋賀県建築士会 事務局 (FAX.077-523-1602) (お問い合わせは… TEL.077-522-1615)

皆様、世界に注目されている伊東豊雄氏設計の台中メトロポリタンオペラハウスが10年の歳月をかけ、来年竣工されることをご存知でしょうか？今台湾では、世界の建築物を肌で感じる絶好の機会です。新たな活力・新たな発想のために、今しかできない旅（親睦）がここに 있습니다。

日 程：平成27年3月27日(金)～3月29日(日)

行 先：台中メトロポリタンオペラハウス、その他台北、九份（予定）

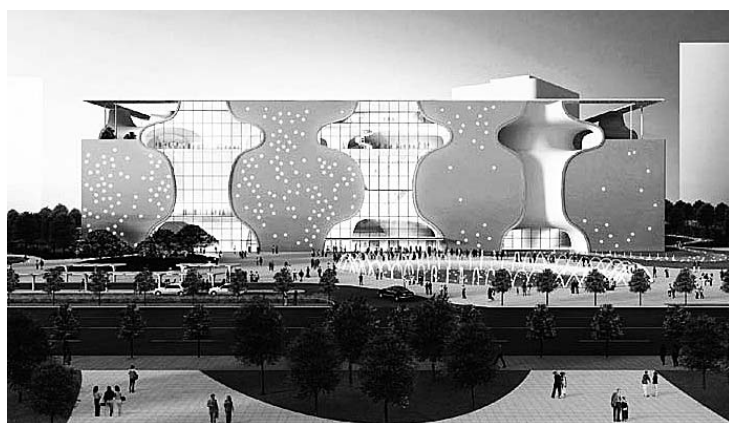
募集人数：30名（先着順）

参加費：会員80,000円、一般90,000円（為替の変動により旅行代金が変わることがあります）

申し込み：下記の申込用紙に必要事項をご記入の上、建築士会事務局へFAXをお願いします。

締め切り：平成27年2月10日(火)

※参加者には、後日、FAXまたはメールにて詳細をお知らせいたします。また、2月24日以降のキャンセルについては料金が発生いたしますのでご注意ください。



台中メトロポリタンオペラハウス

旅行行程

3月27日(金) 関西空港発10:00（搭乗手続8:00）⇒ 中正空港着（台湾）11:50
台北、九份観光予定 ⇒ ホテルチェックイン・食事18:00

3月28日(土) ホテル発7:30 ⇒ 台中メトロポリタンオペラハウス研修予定

3月29日(日) 台北市内ショッピング ⇒ 中正空港発14:20 ⇒ 関西空港着17:50

青年委員会 研修旅行2015 in 台湾 参加申込用紙

お名前（フリガナ）	連絡先	会員確認 宿泊部屋の希望 （いずれかに○を記入）	
		会員 ・ 一般	シングル ・ ツイン（相部屋）
	CPD番号	会員 ・ 一般	シングル ・ ツイン（相部屋）
	FAXまたはE-mail		
	連絡先（携帯電話等）		
	CPD番号	会員 ・ 一般	シングル ・ ツイン（相部屋）
	FAXまたはE-mail		
	連絡先（携帯電話等）		

※シングルでは21,000円/2泊UPします。

※海外旅行傷害保険については各自にてご対応ください。

※関西国際空港までは各自にて移動よろしくお願いいたします。

パスポートの有効期間が6か月
必要ですのでご確認ください！

お申し込みはFAXにて… 公益社団法人 滋賀県建築士会 事務局 **FAX.077-523-1602**（お問い合わせは… TEL.077-522-1615）

※取得した個人情報は、研修旅行2015 in 台湾の参加申込以外に、使用いたしません。

(公社) 滋賀県建築士会では、フォトコンテストを開催いたします。

会員のみなさまの自慢の作品をお待ちしております。

作品のテーマ 「ヘリテージ」(ヘリテージとは、受け継いだもの。また、代々継承していくべきもの。遺産)
「フリー」(風景・建物などテーマは問いません)

応募資格 特に制限は致しません。但し、作品は自作に限ります。

応募作品 4つ切(カラー・モノクロ)、ワイドタイプ可、作品は未発表のものに限ります。
また撮影時期、応募点数は問いません。

表彰 *大賞賞金1万円 *入選賞金5千円

募集期間 平成26年11月～平成27年1月20日

審査 第6回「未来の家、未来のまち」子供立体作品展(ビバシティ彦根)にて展示し、一般の人の投票によります。

発表 平成27年5月ごろに、機関誌「家」及び滋賀県建築士会ホームページにて発表
(<http://www.kentikushikai.jp/>)

応募方法 下記応募票に必要事項をご記入していただき、作品の裏面に糊付けの上、(公社) 滋賀県建築士会事務局までご持参いただくか、郵送にてお送りください。

送り先 〒520-0801 大津市におの浜1-1-18 建設会館3階
(公社) 滋賀県建築士会「フォトコン係」 TEL. 077-522-1615

応募細則

1. 入選作品の著作権は、主催者に帰属します。選外作品であっても使用することがあります。肖像権などについては、応募者の責任に於いて了解が得られているものとします。
2. 応募作品は返却いたしません。ただし、返却希望者は郵便切手(500円分)を同封頂ければ返却いたします。
3. 応募票に記載された個人情報は、当コンテスト以外には使用いたしません。
4. 応募は会員とさせていただきます。

主催団体 公益社団法人滋賀県建築士会

公益社団法人滋賀県建築士会2015年フォトコンテスト応募票

作品名		テーマ	
コメント			
応募者氏名		撮影場所	
会員氏名		撮影年	
住所	〒	連絡先TEL	

※取得した個人情報は、フォトコンテスト事業以外に使用いたしません。

地区だより

湖北地区委員会

平成26年度 親睦交流事業 「ゴルフコンペ及び親睦会」を開催

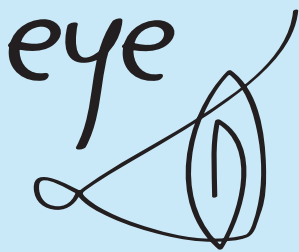
11月19日(水)湖北地区委員会親睦交流事業 ゴルフコンペを開催致しました。ゴルフコンペは彦根カントリー倶楽部にて行いました

参加者は28名、湖南地区委員会からも参加いただき、大変楽しく交流をはかることができました。優勝者は湖北地区

委員会賛助会の 西川 太さんでした。

コンペの後 長浜の浜湖月にて懇親会を行い楽しい1日でした。湖南地区委員会の皆様には遠方よりご参加いただき、お礼を申し上げます。





— アイ・湖国びとの愛情視線 —

庭 師
第23回 椿野 晋平さん

対話から創造する庭

「住む人にとって庭は楽しくて、くつろげる空間であってほしい」。施主の声に耳を傾け、その思いを大切にすることを信条に庭のデザインや施工・メンテナンスを手がけている。穏やかで人懐こい笑顔が印象的で、ついついたくさんおしゃべりをしてしまうという声は多い。

子どもの頃からものづくりが好きで、ツリーハウスや秘密基地を作っては遊んでいたという。建築を学ぶため、京都造形大学で環境デザインを専攻。庭造りに興味を持ったのは、非常勤講師で造園家のマーク・ピーター・キーン氏との出会いがきっかけ。「先生は石で水の流れを表現するなど、人とは違う新しい発想と挑戦をする方で、刺激を受けました」。イベントに参加したり、本に載っている庭を見に行ったりしているうちに庭師を志すようになった。卒業後は京都の造園会社に就職して造園の基礎を学び、2005年大津市伊香立を拠点に独立した。

庭造りヒントは家人との対話から始まる。それぞれの家もつ「人」「モノ」「植物」の

個性や思いを知ることで、家族が求める庭が見えてくる。車いすを使う家族がいれば、車いすでも散策しやすいバリアフリーに。共働きで忙しい夫婦には雑草が生えない処置と手入れが楽な庭を。玄関前にあるバス停でバス待ちをする人が座れるようにしたいと気遣う家人の要望に応え、木を使ったベンチを設置した。お客さんと一緒に庭造りをすることもある。「庭にある土を使って日干しレンガを作り、東屋を建てるワークショップを開きました。2、30人集まったにぎやかな作業で、みんなで取り組むおもしろさをあじわせて頂きました。パーゴラや東屋、ベンチなどくつろげる空間を設けることが多いですね」。

京都市在住のハーブ研究家、ベネシア・スタンリー・スミスさんの庭を年間通じて管理する。バスルームから眺める庭は、流木を使って南国風に仕上げ、小竹と柳枝を使った塀なども手がけた。「大学時代、庭仕事で草引きのアルバイトをして以来のお付き合いです。古い民家をうまく手入れしながら季節に寄り添う暮らし方や和と洋を融合した庭づくりには学ぶことが多くあり、憧れ、影響を受けました」。05年

に購入した自宅は築200年の古民家。松やモミジなど、昔からあった木はそのままに、ハーブや宿根草を植え、円形の池の中央に丸いテーブルを置き、掘りごたつのように座れる空間にした。

夢は庭を主人公にした家づくりをすること。庭を生活のメイン空間に位置づけ、暮らしの流れを考える提案だ。実験的な意味も含め、現在自宅の改築計画を進めている。「ひさしが大きくせり出した広い縁側、庭を見渡せるように配したキッチン、そして将来、植物に関係する雑貨店もできるような。内外の敷居を感じない開放感ある空間にできれば。ひとつの挑戦です。つぎの展開につなげていけたらと思っています」と笑顔を見せた。

(取材 M・Y)



つばきの しんぺい
椿野 晋平さん

1979年、大津市堅田生まれ。妻と娘2人の4人暮らし。最近始めた趣味は釣り。海、湖、川の中でも特に溪流釣りはまっている。大津市伊香立在住



琵琶湖を眺望できる東屋



日干しレンガを使った東屋



小竹と柳枝を使った垣根



和洋折衷に進化させた椿野さんの自庭

ヘリテージマネージャー育成講座も後半に入り、12月は第6、7回の講座が開催されました。第6回講座では横浜国立大学大野教授から建物の破損調査と修理計画について学び、第7回講座では大野教授の指導のもと、第5回講座で現地実習を行った長浜市八木浜の余呉型大規模民家「中村家住宅」で破損調査と活用基本方針策定と修理計画についてグループに分かれての演習が行われました。最終講座となる第10回では、6グループそれぞれが見つけてきた歴史的建造物について実測調査結果と修理・活用計画をまとめ発表することになっており、各グループメンバーも第10回講座を目指して連携を取りながら演習に取り組んでいました。（成果発表会は一般公開を予定しています、2月14日(土)建設会館4階午前9時より、詳細は次号にて発表します）

当日は大雪警報が発令されるという大変な1日でしたが、各グループともメンバーの結束も深まり、お互いへの見解や伝統技術についての談議も活発に交わされるようになり、残すところ3回となった今回のHM講座もいよいよまとめの時期となってきました。



グループでの話し合いの様子



実測調査の様子

訃報

(公社) 滋賀県建築士会 元副会長 高田 富雄 様が平成26年12月8日にご逝去されました。高田 富雄 様は、平成3年～平成10年理事（内、平成7年～平成10年副会長）を務められ、永年 会の発展にご尽力されました。謹んでお悔やみ申し上げますと共に、心からご冥福をお祈り申し上げます。

1月の暦

1	木	先負	元日	11	日	先勝		22	木	友引	四役・委員長会議
2	金	仏滅		12	月	友引	成人の日	23	金	先負	
3	土	大安		13	火	先負		24	土	仏滅	
4	日	赤口		14	水	仏滅		25	日	大安	
5	月	先勝		15	木	大安		26	月	赤口	
6	火	友引		16	金	赤口	情報広報委員会	27	火	先勝	
7	水	先負		17	土	先勝	第8回ヘリテージマネージャー育成講座	28	水	友引	
8	木	仏滅		18	日	友引		29	木	先負	
9	金	大安	建築関係五団体合同年賀会 地区委員長会議	19	月	先負		30	金	仏滅	
10	土	赤口		20	火	赤口		31	土	大安	近畿建築祭 第9回ヘリテージマネージャー育成講座
				21	水	先勝					

残しておきたい滋賀の建築 第9回

白雲館

白雲館の建つ地域には、古い商家の町並みが残り、県下で初めて国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された。その新町通りの江戸末期から明治にかけて建てられた家々は、屋根に防火用の壁である「うだつ」をあげている。豪商の邸宅では家を火災から守るために、屋根にうだつをあげた。珍しい洋風のうだつもある。また、当時の佇まいを残す家並みの堀越しにのぞく「見越しの松」が通りにひとさわ風情を添えている。

参考文献：一般社団法人 近江八幡観光物産協会ホームページ

